



## 冬休み中にやっておくこと②

63号の続きです。

### ④面接の練習

冬休み中に面接で聞かれる質問についての答えを考えておきましょう。

志望理由については、面接でいちばん大事なところですよ。しっかりと自分の思いが相手に伝わるように、言葉を選びながら話せるように考えておきましょう。学校のパンフレットを隅から隅まで読んでみて、どんな教育方針で、どんな高校生を育てようとしているのかを読み取り、それに合ったアピールができると思います。1月末には模擬面接もあります。自信をもって話せるように練習しておいてください。

### ⑤服装の点検・準備

ブレザーのボタンがなかったり、校章がなかったり、カッターの第1ボタンがなかったりしていませんか？スカートやズボンの長さは大丈夫ですか？ほつれていたり、破れたりしていませんか？点検して必要であれば購入するなどしてください。

ほとんどの学校では試験中は防寒着は着ませんが、特に公立高校では、検査中に暖房を切られることがあるそうです。（特に、リスニングのときなどに）換気で窓を開けていることもあり、防寒着を着て受検を受けることが許されていることがあります。ただし、英語などのロゴが大きく入っているものは不可ということになっています。昨年の受検の様子を聞いていると、「窓や扉が開いていて寒かった。」という感想を書いている人が多くいたので、大きなロゴの入っていない防寒着の用意をお願いします。特に背中に大きく入っているのはNGです。



### ⑥生活リズムを入試に向けて調整する。

余裕なく入試会場に入ると、思わぬミスをすることになります。時間に余裕をもって何事もすることが大切です。だいたい人は、頭が動くのに2時間ぐらいかかるそうです。入試が9時から始まる場合は、遅くとも7時には起床しないといけません。8時から始まる場合には、6時に起床する必要があるでしょう。また、入試のときだけでは、頭がすぐに動き出さないかもしれません。しっかりとリズムを整えることが大切です。ちゃんとしたリズムにするには、この冬休みがかっこうの時期となります。

毎日、ちゃんとした食事をとり、しっかりと勉強して、時には休養を取りながら、しっかりと睡眠をとって、規則正しい生活リズムに直してほしいと思います。

しっかりと、いろいろな準備をして、万全の態勢で、入試に臨んでください。

→裏は年明けの進路の流れです。

## ◎年明けの進路の流れ（私立高校入試について）

- ① 「申込内容確認書」や紙願書の下書きなどを1/5（木）始業式に返却するので、清書をしてもらいます。
- ② 受験区分（推薦、専願、併願）やコース名（まわし合格の有無も）や受験日程（複数日程あるところ）を絶対に変えないようにしてください。
- ③ 紙願書の受験料納入「証明書」は、大切に保管しておいてください。担任の先生のOKがもらえたら、貼ってください。
- ④ 封筒に切手が必要なところは、切手を用意しておいてください。許可がもらえたら貼ってください。
- ⑤ 印鑑（シャチハタ以外）の準備をしておいてください。また、すぐに学校に持って来られるように保護者の方と確認しておいてください。
- ⑥ 英検などの各種検定証明が必要な学校は、コピーをとっておいてください。
- ⑦ 出願は、各自で書留（簡易書留）で郵送してもらいます。郵便局の場所や方法を確認しておいてください。また、お渡しした願書一式の中に出願用封筒がない学校は、出願用の封筒も各ご家庭でご準備ください。その際、各学校からダウンロードされた宛名票がある場合は、それを出願用封筒に貼り付ける必要があります。「レターパックライト」での出願の学校もあります。購入しておくようにしてください。
- ⑧ WEB 出願の学校は 1 月 6 日から受験料の支払いが可能になります。受験料の支払いが終わると、その後の変更不可です。必ず、担任の先生の許可をもらってから入金するようにお願いします。  
受験料の支払いが完了すると、願書が出力できるボタンが現れ、願書が印刷可能になります。
- ⑨ **1/10（月）Web で出力した願書の提出**  
入金が終わると、願書がプリントアウトできるので、それを学校に持ってきてください。  
推薦書、英検などの証明書、封筒など必要なものは忘れないように持ってきてください。  
**受験票はまだ切り離さないようにしてください。**
- ⑩ 13 日（金）に願書などを返却しますので、16 日以降（学校によって異なる）に出願してください。遅れることが絶対ないようにしてください。